18

No.

三井電氣軌道では
○從業員にも利益配當
勞資協調の爲今期から實行
◇……高尾支配人は語る

福岡縣三井郡北野町に本社を有し二百萬圓（内百二十五萬圓拂ひ込）の資本金で電燈と電鐵の營業をして居る三井電氣軌道株式會社では今回勞資協調の目的で期末決算に於ける利益金の處分に際し株主の配當と併立して從業員配當金なる一項目を新設し本年十一月期即ち今から法定積立別途積立退職給與其金役員賞與後期繰越等を控除し六萬八千餘圓即ち拂込資本金に對する年一割の歩合を株主配當金に充て此株主配當金の十分の一即ち六千八百七十五圓を從業員配當金にする豫算だと云ふ右に就き高尾支配人に語るて曰く

私の會社でも期末の賞與は從來からやつて居りますが勞資問題の矢釜しい今日只たそれだけでは滿足を買ふことが出來ない狀態であり今一歩進んだ形式で事業純益を資本家たる株主以外の從業員に分配することは早かれ晩かれ免れない譯で果してそうとすれば先鞭をつけた方が結局得でしよう而して從業員配當金五月の決算期から之を實行することになり既に重役會の議決を經て居るさうである而して同社今期の營業經過は廿木線延長の結果餘程良好の成績を示し今日迄の處先づ十萬圓の純益は擧げ得る見込みで之に前期繰越金の一萬圓餘を合し十一萬餘圓の總純益金となし此内をどんな風に各人に分配すべきかに就ては目下考案中でありますが私の考へでは從業員を全部株主にする方針の下に一の組合を組織せしめ現金は其組合に交附し組合は是で會社の株券を講入すると云つた風にして貰ひたいと思つて居ます猶ほ此配當に與ふるものは二年以上の勤續者に限りたいのです從業員配當金を設けたら期末の賞與金は減ずか廢するか何なるたらうとの懸念があるかも知れぬが決してそんなことはせぬ賞與は賞與として矢張り之を存續し其歩合は會社の利益が增進するに伴つて增率する考へでありますが配當金の歩合は先當分株主配當率の一割と内定した譯であります云云

山口職工貯金
二千万五千圓

山口縣下適用工場の職工貯金は財界の不況に反比して增加し十年末現在の總額二十萬五千五十七圓である内郵便貯金一萬九千百八十七圓銀行貯金二萬四千三百七十四圓工場貯金十六萬千四百九十六圓で約八割は工場が吸收して居る而して此の貯金人員は四千百六十四人で一人平均四十九圓四十八錢五厘餘となる次にどんな工場に働く職工が勤儉であるかを觀ると製藥工場の一人平均百八十八圓十三錢が最も多く次は藥業の百十四圓三十三錢機械製造の八十一圓七十錢反對に最も少いのは製絲工場の七圓五十九錢火藥工場の十一圓織物工場の十二圓で其他各種工場の一人平均左の如くである